

## 医療対策

### 地域医療にどう取り組むか

### 信頼関係の医療行政に



やまさき 山崎 まさお 正男 議員

今後はしっかりと協議を深め、信頼関係に基づく医療行政に取り組んでいきたい。津波浸水区域外への移転の方向性は、いずれかにおいて示さなければならぬ。

**問** 地域医療の在り方について、今後どう取り組むのか。医師と行政の関係をどう充実させるか。津波想定の中で佐賀の診療所や医師の対策は考えているのか。

**答** 村越 地域住民課長

住民の健康増進、病気予防等をより効果的にするため、保健、医療、福祉の連携を全庁的に取り組んでいる。

行政として医師との協議が十分ではなかったとの指摘は率直に反省をしている。

### 18歳対策

心構えや責任  
重さの説明は  
主権者教育の  
取り組みを

**問** 来年の参議院選挙より、18歳から投票ができるようになる。投票すべき心構えや責任の重さを関係者や家族にどう説明していくか。学校教育ではどう考えているか。

**答** 坂本 教育長

各小中学校でも主権者教育を中心とした取り組みを今後実施すべく、選管と教育委員

会とで調整を進めている。

若者の政治参加を促すために、文科科学省や総務省は今後、高校生など若い世代を対象に、政治教育や社会教育を拡充させる方針を示している。

選挙権が18歳に引き下げられることによる選挙教育には、若者が社会の状況に目を向け、具体的な投票行動につながるような内容の教育が求められており、こういった教育は、高校教育に委ねるべきである。

### 勤務対策

職員の労働時間  
適切か  
数年が正念場  
乗り切りたい

**問** 町の職員の労働時間は適切であるか、現状と課題や今後の方針を聞く。

**答** 大西 町長

長時間労働が常態化すれば、心身への悪影響を及ぼすほか、事務能率や労働意欲の

低下を招く恐れがある。

来年度より人事評価制度で、組織目標、個人目標を設定し、管理職が個人面談を実施することで、業務量の把握や、メンタルも含めた健康状態の把握に努めていく。

ここ数年が正念場だと思っているが、いつ解消されるのかという指摘もいただきながら、何とか組織で一致団結し

て乗り切りたい。

その他の質問

※津波対策について  
(白浜・会所・鈴)



津波高さ 34mの白浜集落  
日常生活で不安が募る。行政の対策は？